

研究業績

学術論文（原著）

2007年

1. Efficacy of Tokishakuyakusan on the Anemia in the Iron-Deficient Pregnant Rats.
Tomoko AKASE, Emiko HIHARA, Tsutomu SHIMADA, Kazuko KOJIMA, Tomohide AKASE, Shin-ichi TASHIRO, Masaki ABURADA
Biol.Pharm.Bull. vol.30 No.8 :1523-1528 (2007)
2. 妊娠時鉄欠乏性貧血に対する当帰芍薬散の効果
赤瀬智子、北山幸枝、赤瀬朋秀、田代眞一、油田正樹
Jpn Pharmacol Ther (薬理と治療), vol.35, No.5 :469-478 (2007)

2008年

1. 手術室における薬剤師の役割と今後の課題
今浦将治、平野幹子、佐々木孝江、落合理路、赤瀬朋秀
神奈川県病院学会誌
2. メタボリックシンドロームに対するコタラヒムブツ (*Salacia reticulate*) の予防効果
赤瀬智子、嶋田 努、原沢友紀子、赤瀬朋秀、池谷幸信、田代眞一、油田正樹
Jpn Pharmacol Ther (薬理と治療), vol.36, No.1 :39-48 (2008)

2009年

1. Preventive Effects of Salacia reticulate on Obesity and Metabolic Disorders in TSOD Mice.
Tomoko Akase, Tsutomu Shimada, Yukiko Harasawa, Tomohide Akase, Yukinobu Ikeya, Eiichi Nagai, Seiichi Iizuka, Gojiro Nakagami, Shinji Iizaka, Hiromi Sanada and Masaki Aburada
eCAM 2009;1-9 doi:10.1093/ecam/nep052 (2009)

論文（総説を含む）

2007年

1. 薬剤部門との連携で医薬品関連リスク管理の新しい業務展開ができる
赤瀬朋秀、大幸 淳、落合理路、菅野 浩、赤瀬智子
Nursing Business vol.1, No.7:678-679, 2007.

2. 中高年医療における漢方製剤の有用性とその根拠
 - 1) 高齢者医療における漢方製剤の有用性 ～医療経済の視点から～
赤瀬朋秀
医薬ジャーナル vol.42, No.7:1783-1788, 2007.

3. 平成 17 年度学術委員会 学術第 5 小委員会 最終報告
病院組織における薬剤部門の位置づけに関する調査研究
赤瀬朋秀、佐藤 博、政田幹夫、柳川忠二、依田啓司、菅野 浩、高橋淑郎、
小林暁峰、石橋 晃
日本病院薬剤師会雑誌 vol.43, No.8:1003 -1006, 2007.

4. 漢方製剤の骨組みを探る
 - ・作用は強いが副作用発現に注意が必要な「下薬」
 - ・漢方薬の効果や副作用発現に対して、腸内細菌がどのような役割を担っているのですか？
 - ・麻黄やホミカエキスを服用した際、ドーピング検査にて陽性反応がでることがありますか？赤瀬朋秀
薬局 vol.58, No.10: 2710-2714, 2765-2768, 2778-2780, 2007.

5. 漢方薬の医薬品情報と服薬指導（1）
服薬指導に使える漢方薬の DI の考え方・探し方・伝え方
総論①：漢方薬の情報提供にあたって
赤瀬朋秀
薬事新報 第 2500 号 :1212-1215, 2007.11.15.

6. 薬剤師の勤務体制を考える
済生会横浜市東部病院における取り組みとマネジメント
赤瀬朋秀
月刊薬事 vol.49, No.13: 2009-2015, 2007.

7. 漢方薬の医薬品情報と服薬指導（2）
服薬指導に使える漢方薬の DI の考え方・探し方・伝え方
総論②：漢方薬の服薬指導の特殊性～臨床薬学の立場から
赤瀬朋秀
薬事新報 第 2502 号 :1261-1265, 2007.12.6.

2008年

1. 漢方薬の医薬品情報と服薬指導 (10)
服薬指導に使える漢方薬のDIの考え方・探し方・伝え方
漢方薬の剤形①煎じ薬
山谷武司、赤瀬朋秀
薬事新報 第2519号 :341-343, 2008.4.3.

2. シリーズ・地域研究会紹介 (3) 神奈川中規模病院薬剤業務研究会
中規模病院の戦略策定と薬剤部門の役割
赤瀬朋秀
薬事新報 第2520号 :364-369, 2008.4.10.

3. 漢方薬の医薬品情報と服薬指導 (13)
服薬指導に使える漢方薬のDIの考え方・探し方・伝え方
漢方薬の飲み方の服薬指導② ー小児への応用、坐剤、ゼリーー
菅野 浩、赤瀬朋秀
薬事新報 第2526号 :529-532, 2008.5.15.

4. 漢方薬の医薬品情報と服薬指導 (15)
服薬指導に使える漢方薬のDIの考え方・探し方・伝え方
薬物動態から漢方薬を見る
大幸 淳、赤瀬朋秀
薬事新報 第2530号 :627-631, 2008.6.19.

5. 漢方薬の医薬品情報と服薬指導 (16)
服薬指導に使える漢方薬のDIの考え方・探し方・伝え方
漢方薬の薬物動態 ー薬物動態から漢方薬を見るー
大幸 淳、赤瀬朋秀
薬事新報 第2532号 :677-681, 2008.7.3.

6. 漢方薬の医薬品情報と服薬指導 (17)
服薬指導に使える漢方薬のDIの考え方・探し方・伝え方
漢方薬の副作用・有害作用① 甘草による偽アルドステロン症の考え方
赤瀬朋秀
薬事新報 第2535号 :770-774, 2008.7.17.

2009年

1. 医療経済とファーマシーマネジメント

赤瀬朋秀

薬剤学 vol.69, No.4:282-288, 2009.

2. ポイントレクチャー医薬品安全

返却薬の危険性とリスクヘッジ

赤瀬朋秀

月刊薬事 vol.51, No.11: 1631-1633, 2009.

学会活動

2007年

1. 学術講演 ー漢方薬の医薬品情報と服薬指導ー.

赤瀬朋秀

第17回 日本東洋医学会関東甲信越支部神奈川県部会学術大会

2007年 7.1. 神奈川

2. 病院薬剤師版バランススコアカード導入に向けての取り組み

舟越亮寛、有山良一、大幸 淳、関口信香、角田 健、岡添 進、金田光正、
菅野豪輝、大久保千恵子、宿利和子、林 幹男、赤瀬朋秀、加賀谷肇、森田雅之

日本病院薬剤師会 関東ブロック第37回学術大会 (要旨 pp294)

2007年 8.25.-8.26. 栃木

3. プレストケアチームにおける薬剤師の役割

安藤純子、増山 孝、三田恭平、山田紀子、大原志歩、外崎真里、原田知彦、
土井正和、赤瀬朋秀

日本病院薬剤師会 関東ブロック第37回学術大会 (要旨 pp255)

2007年 8.25.-8.26. 栃木

4. 手術室における薬剤師業務の展開と今後の課題

今浦将治、平野幹子、落合理路、赤瀬朋秀

日本病院薬剤師会 関東ブロック第37回学術大会 (要旨 pp210)

2007年 8.25.-8.26. 栃木

5. 次世代の和漢医薬学教育への期待 ー患者サービス向上を目指してー

2007年 12.4. (横浜)

2008年

1.キノロン系抗菌剤の体内動態に及ぼすOTC薬・漢方薬等の影響

新井田サヤカ、赤瀬朋秀、吉田久博

日本薬学会第128年会 (要旨 pp220)

2008年 3.26-28. (横浜)

2.バンコマシイン持続投与法の有用性とクリアランスの変動要因に関する検討

—第1報—

大幸 淳、木幡雄至、山田紀子、赤瀬朋秀、笹尾健一郎、篠崎公一

第25回日本TDM学会・学術大会 (要旨 pp208)

2008年 6.21-22. (東京)

3.ICU常駐薬剤師の意義

今浦将治、平野幹子、阿久津麗香、本間康浩、小林光太郎、高橋宏行、久保山直美、
赤瀬朋秀

第58回日本病院学会 (要旨 pp)

2008年 7.3-4. (山形)

4.当院における疑義照会の実態調査 第2報

落合理路、今浦将治、大幸 淳、山谷武司、赤瀬朋秀

第11回日本医薬品情報学会 総会・学術大会 (要旨 pp94)

2008年 7.5-6. (東京)

5. Pharmacy Management 6 —シックスシグマによる医薬品提供業務の改善—

竹之内正記、大幸 淳、赤瀬朋秀

第11回日本医薬品情報学会 総会・学術大会 (要旨 pp147)

2008年 7.5-6. (東京)

6. 坐剤分割投与における適正使用情報の検討

済生会横浜市東部病院薬剤センター

江口裕三、竹之内正記、新倉白朗、山谷武司、菅野 浩、赤瀬朋秀

医療薬学フォーラム2008 第16回クリニカルファーマシーシンポジウム
(要旨 pp181)

2008年 7.12-13. (東京)

7. 当院における産婦人科手術後の麻薬残液調査

平野幹子、五十嵐崇、今浦将治、増田純一、赤瀬朋秀

医療薬学フォーラム 2008 第 16 回クリニカルファーマシーシンポジウム

(要旨 pp287)

2008 年 7.12-13. (東京)

8. オピオイドローテーションの薬剤経済学的分析ーモルヒネ徐放錠からフェンタニル貼付剤またはオキシコドン徐放錠へローテーションした際の費用最小化分析ー

伊勢雄也、輪湖哲也、三浦義彦、片山志郎、原田知彦、赤瀬朋秀

医療薬学フォーラム 2008 第 16 回クリニカルファーマシーシンポジウム

(要旨 pp302)

2008 年 7.12-13. (東京)

9.漢方薬の適正使用に関する臨床薬学的研究 4 ー漢方エキス製剤の溶解性および用法に関する服薬指導の検討ー

赤瀬朋秀、大幸 淳、原田知彦、落合理路、稲葉健二郎、杉山 清

第 25 回 和漢医薬学会大会 (要旨 pp96)

2008 年 8.30.-8.31. 大阪

10.キノロン系抗菌薬と OTC 漢方胃腸薬の相互作用に関する研究ー吸収抑制改善策についてー

津田泰正、中沢良輔、花崎貴之、赤瀬朋秀、吉田久博

第 18 回 日本医療薬学会年会 (要旨 pp299)

2008 年 (平成 20 年) 9.20-9.21. 札幌

11.薬剤師を対象とした無菌調製および配合変化研修 (1)

ー無菌調製実技研修シナリオに基づいた配合変化研修ー

菅野 浩、原田知彦、赤瀬朋秀、山田利恵

第 18 回 日本医療薬学会年会 (要旨 pp439)

2008 年 (平成 20 年) 9.20-9.21. 札幌

12.薬剤師を対象とした無菌調製および配合変化研修 (2)

ー医療安全における製薬企業の取り組みー

山田利恵、菅野 浩、原田知彦、赤瀬朋秀、濃沼政美、中村 均

第 18 回 日本医療薬学会年会 (要旨 pp440)

2008 年 (平成 20 年) 9.20-9.21. 札幌

13.病院薬剤師版 BSC 導入に向けての取り組み 第 2 報 -BSC に対する病院薬剤師の意

識調査一

赤瀬朋秀、林 幹男、舟越良寛、大幸 淳、関口信香、岡添 進、金田光正、菅野豪輝、大久保千恵子、小林 岳、小田切正美、中村葉月、向山雅志、加賀谷肇、森田雅之

第 18 回 日本医療薬学会年会 (要旨 pp461)

2008 年 (平成 20 年) 9.20-9.21. 札幌

14.オキシコドン徐放錠の不均等投与により疼痛緩和が得られた一症例

水谷華子、平野幹子、江口裕三、原田知彦、清水佳都子、太田紀美²⁾、増田純一³⁾、赤瀬朋秀¹⁾

第 2 回緩和医療薬学会年会 (要旨 pp)

2008 年 10.18.-19. 横浜

15.終末期癌患者への輸液投与の現状-終末期癌患者に対する輸液療法の適正使用へのファーストステップ-

済生会横浜市東部病院薬剤センター¹⁾、同 看護部²⁾、同 麻酔科³⁾
原田知彦¹⁾、江口裕三¹⁾、増田純一³⁾、赤瀬朋秀¹⁾

第 2 回緩和医療薬学会年会 (要旨 pp72)

2008 年 10.18.-19. 横浜

16.進行大腸がんの化学療法は、経済効率のよい FOLFIRI を初期治療に！ -投与順序で決まる治療の効果と経済性-

総合高津中央病院薬剤部¹⁾、済生会横浜市東部病院薬剤センター²⁾、横浜薬科大学薬学部³⁾、国際医療福祉大学大学院/同大学三田病院⁴⁾

宮崎美子¹⁾、原田知彦²⁾、赤瀬朋秀²⁾、荒川一郎³⁾、井上忠夫⁴⁾

日本薬学会第 年會 (要旨 pp)

2009 年 (平成 21 年) 3.26.-28. 京都

17.ICU 常駐薬剤師による医薬品情報提供の評価

済生会横浜市東部病院 薬剤センター¹⁾、集中治療センター²⁾

木幡雄至¹⁾、今浦将治¹⁾、阿久津麗華²⁾、本間康浩²⁾、小林光太郎²⁾、高橋宏行²⁾、

本多秀彰²⁾、赤瀬朋秀¹⁾

第 18 回日本集中治療医学会 関東甲信越地方会 (要旨 pp153)

2009 年 (平成 21 年) 7.4. 長野

18.基調講演 添付文書から見る漢方エキス製剤の医薬品情報

済生会横浜市東部病院 薬剤部

赤瀬朋秀

天然薬物研究方法論アカデミー

2009 年 (平成 21 年) 8.1.-2.

19.メインテーマ(3)和漢医薬研究者の育成—セッション 2— (シンポジウム)

学会奨励賞受賞者は語る「薬剤疫学と漢方薬の医薬品情報」

済生会横浜市東部病院薬剤部

赤瀬朋秀

第 26 回和漢医薬学会学術大会

2009 年 (平成 21 年) 8.29-30. (千葉)

20.坐剤分割投与における適正使用情報の検討 第 2 報

—坐剤適正使用の実用化に向けて—

済生会横浜市東部病院薬剤部

新倉白朗、江口裕三、竹之内正記、菅野 浩、赤瀬朋秀

日本病院薬剤師会関東ブロック 第 39 回学術大会 (要旨 pp182)

2009 年 (平成 21 年) 8.29-30. (長野)

著書

1.『薬剤師生涯研修ガイド —プロフェッショナル薬剤師になろう—』

監修：内山 充

執筆：落合理路、他

株式会社薬ゼミ情報教育センター 2008 年 5 月 2 日発行

担当部分：神経系疾患 (p106-109) 全 233 頁

2.『新しい医薬品管理 Safety & Hospital Management』

監修：加賀谷肇、赤瀬朋秀

執筆：加賀谷肇、赤瀬朋秀 他 22 名

株式会社じほう 2008 年 10 月 1 日発行

担当部分：病院経営における医薬品管理の位置づけ (p11-27)

総論－医薬品管理とコストマネジメント－ (p44－57)

採用医薬品の決定 (p60－75)

手術室・集中治療室における医薬品管理 (p199－215) 全 376 頁

3. 『根拠からよくわかる注射薬・輸液の配合変化』

監修：赤瀬朋秀、中村 均

執筆：赤瀬朋秀、湯本哲郎、青木光夫、今浦将治、菅野 浩、舟越良寛、樋島 学、
濃沼政美、中村 均

株式会社 羊土社 2009 年 4 月 1 日発行

担当部分：序 (p8－9)

第 1 章 なぜ配合変化は難しく取っつきにくいのか

配合変化を予測することの重要性 (p16－23) 全 228 頁